

第1回 歯科情報の利活用に関するWG

(「口腔診査情報標準コード仕様」の新たな利活用方策について)

井田提出資料

前提：持続的に発展する「口腔診査情報標準コード仕様」

※ 口腔診査情報標準コード仕様

歯科情報の保存形式を統一化して歯科用コンピュータ・レセコンから出力するための標準規約。厚生労働省標準規格取得を計画。

WG利用シーンの提案
検討会での実証事業

利用者
の増加

ユース
ケース
の増加

コード仕
様のリ
ファイン

(0) 身元不明遺体・被災者等の検索

日歯実証事業(H28～)

(1) 匿名のビッグデータとしての利活用



歯科健診・検診



歯科診療情報



口腔診査情報標準
コード仕様に準拠した
歯科情報の入力・送信

匿名加工

SERVER

匿名加工された情報の
データセンターへの集約

【集計情報としての利用】

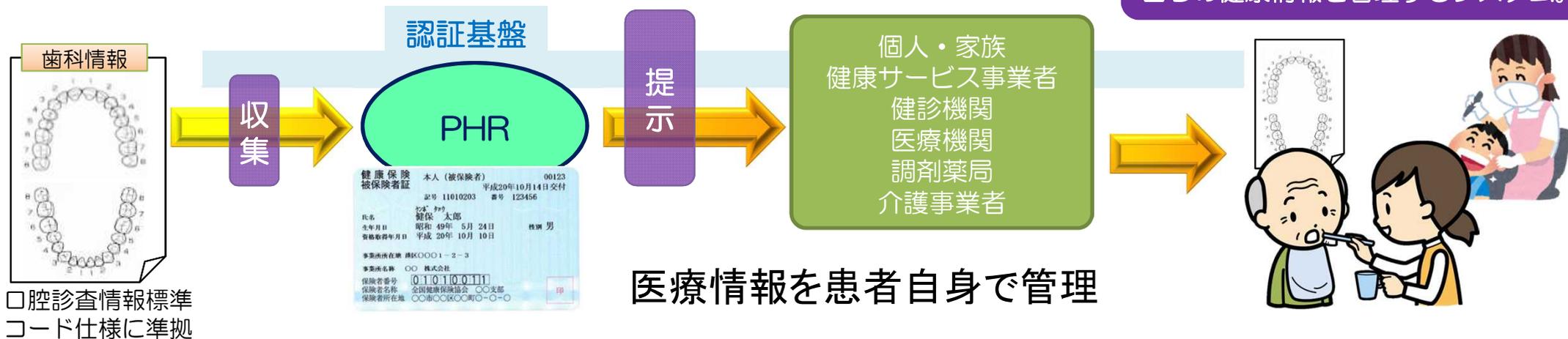
1. 悉皆的口腔情報をほぼリアルタイムで参照可能
2. 集計作業のオートメーション化につながる

1. 治療方法・材料ごとの臨床効果の測定
2. 既存の医療のビッグデータ（National Database）との突合により医科情報等と歯科情報とを組み合わせた分析

- 臨床疫学・臨床研究への利活用・・・医療の質の向上／新しい治療法の開発／医療安全の向上
- 医療経済学的分析への応用・・・医療費の効率的な使用／医療費の適正化
- ヘルスサービスリサーチ／医療資源配分への貢献・・・地域偏在や地域性の均てん化／行政指導の透明化

(2) PHRへの利活用

※ PHR (personal health record)
自らの健康情報を管理するシステム。



1. 患者自身による歯科医療情報の管理・提示
2. 生涯に渡る健康情報の一元管理

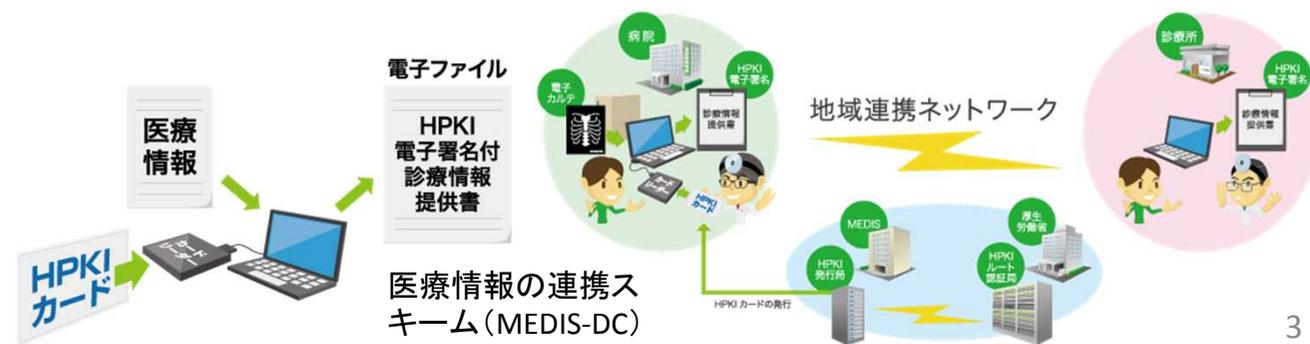
- 医療情報（病歴）のポータビリティ向上・・・医療の継続性の確保、患者の自己決定への寄与
- 医療情報の携帯・・・緊急時の情報開示（意識不明、認知症、お薬手帳の代用）
- 多職種連携、多機関連携・・・職種・機関を超えた情報連携

(課題)

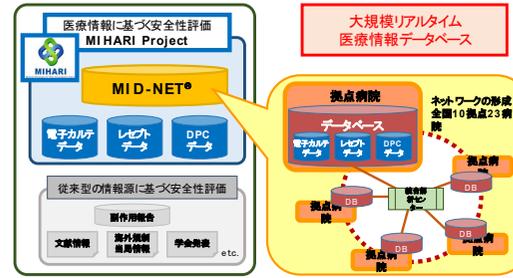
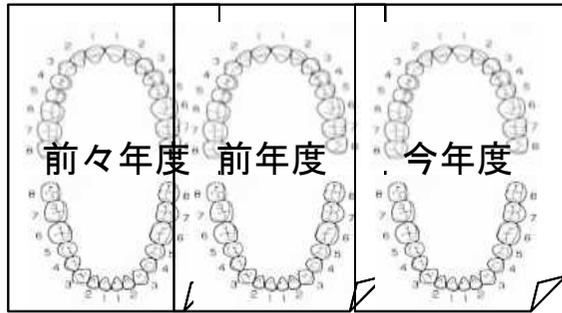
- ・ 認証基盤の整備 (PHRカード、PKI (HPKI)、歯科医師資格証、情報開示環境・・・)
- ・ 記録、連携すべき情報の精査
- ・ 医療等用IDなどの個人識別情報
- ・ 閲覧・記録の権限管理



HPKIのコンポーネント
医師資格証、電子証明書
(日本医師会)



(3) 歯科（診療）支援システムへの応用



Ex.)MID-NET (PMDA)



Lot #
Serial No.
Screw Type



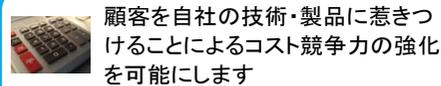
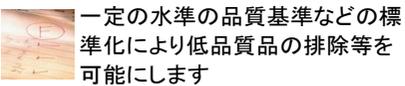
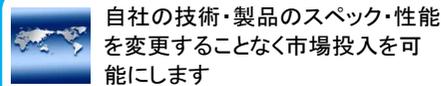
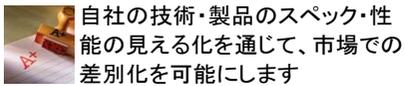
材料の使用歴管理

1. 学校健診・特殊健診・特定健診等の診査支援
2. インプラント・(特定)生物由来製品の管理
3. 電子カルテ設計・構築の標準

- 検診時のhuman errorの低減・・・検診精度の向上、正確な疾病実態の把握
- 患者の転居、医療機関の統廃合に関わらず、医療記録が継続する・・・再治療の患者負担減少、副反応への対応（材料版センチネル）
- 歯科用電子カルテにおける設計の指針・・・記録すべき事項の標準化、データ交換の易化、緊急時に操作の互換性を保つ標準UI設計

(4) 歯科医業以外の産業への応用

標準化の活用により期待される効果の例



一般的な標準化の効果 (一財)日本規格協会)

1. 保険・情報産業におけるデータ交換
2. 歯科用電子カルテの普及促進・水準向上
3. 効率的な歯科医療行政への貢献
4. ジャーナリズム・アカデミア（教育）利用

- 保険業、保険組合、その他情報産業におけるデータ交換ニーズへの対応・・・企業内健康管理・特定検診のデータ記録・インセンティブ対応
- （再掲）標準的な保存およびデータ移行など電子カルテ普及の効果・・・プロプライエタリな記録からオープンな記録への転換
- 医療に関する知る権利の担保、歯学教育における種々の記録への応用